

令和6年10月11日

保護者各位

鳥栖市立基里中学校  
校長 中山 孝史

## 令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

### 1 令和6年度全国学力・学習状況調査について

令和6年4月18日、下記のような内容で全国一斉に中学校3年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、数学）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

### 2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校生徒の姿

#### (1) 国語について

- ・全体の平均正答率は、全国平均正答率を下回っていました。
- ・評価の観点の「知識・技能」については、全国平均正答率を上回っていました。その中でも「情報の扱い方に関する事項」は、全国平均正答率を大きく上回っていました
- ・評価の観点の「思考・判断・表現」については、全国平均正答率を下回っており、課題が見られました。その中でも特に「書くこと」に課題が見られました。
- ・問題形式においては、「記述式」の問題が、全国平均正答率を下回っており、課題が見られました。

#### (2) 数学について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を僅かに下回っていました。
- ・「データ活用」の領域では、全国平均正答率を上回っていましたが、その他の「数と式」・「図形」・「関数」の領域では、全国平均を若干下回っており課題が見られました。
- ・問題形式においては、「短答式」の問題は、全国平均正答率を上回っていましたが、「選択式」の問題は、全国平均正答率を下回っており課題が見られました。

### 3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校生徒の姿

- ・「朝食」については、83.7%の生徒が毎日食べていると回答しており、全国平均より4.6%上回っていました。
- ・「起床時間」については、いつも同じ時間に起きていると回答した生徒の割合は53.5%

であり、全国平均より1.8%上回っていました。

- ・「将来の夢や目標を持っていますか」については、持っていると回答した本校生徒の割合は、41.9%となり、全国平均より5.8%上回っていました。
- ・平日の一日当たりの勉強時間について2時間以上行っている本校生徒の割合は、23.2%となり、全国平均より8.5%低い結果で題が見られました。
- ・「スマートフォンやタブレットの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」については、守っていると回答した生徒は83.8%となり、全国平均より11.6%も上回っていました。

#### 4 今後の改善策（生徒の力をさらに伸ばすために）

- ・「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」という質問に、当てはまる、どちらかという当てはまると回答した本校生徒は93%でした。これは、全国平均より8.1%も高く、教員と生徒の関係性が良好という証だと考えられます。これからもこの信頼関係を崩さぬようにきめ細やかな指導を心掛けます。
  - ・各教科において、グループ活動を積極的に取り入れ、生徒が根拠をもって自分の考えを説明できる力を育む授業に取り組んでいきます。
  - ・各教科において、生徒が主体的に授業に取り組めるよう、タブレット等のICT機器を積極的に活用した授業改善に取り組んでいきます。
- ・ご家庭でも次のようなことを心がけてください。

##### 1 家庭学習の環境について

- ◎学習する時間や時間帯を自分で計画し実行していくことで学習習慣を身に付けさせ、家庭学習時間を増やしていきましょう。
- ◎スマートフォンやタブレットの使用時間を決め、長時間にならないようにしましょう。
- ◎今まで行ったテスト問題の復習を中心とした自主学習に取り組ませましょう。

##### 2 生活習慣について

- ◎「朝食」や「起床時間」などの基本的な生活習慣は身に付いている生徒が多く見られますので、これを継続していきましょう。
- ◎自分で考え自分から行動できるように、お子さんの自主性を尊重していきましょう。
- ◎お子さんが、がんばったことや良くできたことを、積極的にほめていきましょう。